

1961

(昭和36年)

- 1月 幅公民館落成 (工費60万円)
- 2月9日 長尾橋架橋落成式 (延長110m、幅員2.5m、工費156万円)
- 5月10日 舟形で初の保育園誕生、公民館に併設、66名入所、運営は町内会で
- 5月22日 舟形小学校でミルク給食始まる (児童数581名)
- 7月8日 長沢診療所開所、岸啓一先生着任
- 7月9日 斎藤好松県会議員、ソ連訪問壮行式
- 9月1日 堀内中学校落成式
- 10月16日 舟形町商工会発足 (会員130名)
- 10月19日 故渡辺一夫助役町葬
- 12月20日 猿羽根隧道開通式 (延長433m、幅員7.5m)
- 12月20日 町営火葬場竣工式 (工費104万円)



完成した長尾橋



当町初の保育園誕生



町営火葬場竣工



落成した堀内中学校



舟小でミルク給食始まる

世界と日本

- 1月6日 アメリカ、キューバと断交
- 4月12日 ソ連の人工衛星ウォストーク地球を一周、ガガーリン少佐「地球は青かった」と語る
- 7月20日 小児マヒにソ連製ワクチン使用開始
- 10月15日 日紡貝塚、ヨーロッパで24戦無敗、「東洋の魔女」と呼ばれる
- 12月2日 日本柔道敗れヘーシンク優勝

【土木】長尾橋が完成。2月9日渡橋式を挙。野・幅・長尾地区民が熱望した架橋。昭和34年の東長沢駅の誕生と同時に町当局に陳情。新庄営林署不用の古材利用により延長110m、幅員2.5mの吊橋。
 【教育】5月20日舟形保育園が誕生し、舟形公民館で開園式を挙。入園資格は小学校就学前2カ年の幼児で66名が集まった。保育料は月額500円、保護者会費50円、毎月25日まで納付する仕組みで初代園長として大泉清氏が委嘱された。幅公民館が部落民の自力により落成、総工費60万、12畳の部屋が3間、台所、土間、便所などが付き立派な公民館である。

堀内中学校校舎が前年12月28日着工し、7月31日を以て完成した。堀内小中学校併設の障害を乗り越え、9月1日竣工式を挙。【土木】国道13号線中の難所、猿羽根山峠の隧道工事が完了。10月20日舟形口で開通式を行い、ただちに諸車の通行を許可。今まで峠越えに20分も要したのが、2分という短時間で安全運転ができるようになった。
 【商業】中小企業者の創意が結集し「舟形町商工会」が発足。10月16日創立総会挙。初代会長に中山敬治郎氏。

1962

(昭和37年)

- 1月31日 舟形中学校増築工事落成 (72坪、工費287万円)
- 3月 富田出身、高橋光弥君「栃桜」で初土俵
- 4月2日 町議会議長に沢内甚一郎氏
- 4月 郡内で初のホップ栽培 (長沢で)
- 5月1日 国道47号線(石巻、酒田線)1級国道に昇格
- 5月25日 猿羽根隧道並びに道路改修竣工式 (総工費4億5千万、労働人員延20万人)
- 7月 長者原に本町初の老人クラブ誕生 (会員数50名)
- 10月8日 太郎野道路竣工式 (延長1,404m、幅員4m、工費43万円) 自衛隊の部外工事で完成
- 11月27日 町長選挙、3代目町長に星川五郎兵衛氏当選 (星川2,931票、奥山興市郎2,504票、投票率91.9%)
- 12月12日 長沢診療所新築落成 (総工費245万円)



舟形小学校に鼓笛隊誕生町内パレード



「栃桜」で初土俵



舗装整備される駅前通り



自衛隊の協力で整備された町道太郎野線



完成した舟形中学校特別教室

世界と日本

- 2月1日 東京の人口1,000万人を突破
- 8月12日 堀江謙一青年、ヨットで太平洋横断に成功
- 8月30日 初の国産機「YS-11」試験飛行成功
- 9月5日 国鉄の金田投手、3,514の三振奮取世界新記録
- 10月10日 ファイティング原田、世界フライ級チャンピオンになる

1963

(昭和38年)

- 4月1日 農業委員会委員改選
- 4月30日 町議会議員選挙、定数26名から22名へ(投票率94.57%)
- 6月26日 国道47号線改良推進協会発足
- 6月29日 長尾道路改良工事竣工式(延長195m、幅員3m、工費45万円)
- 7月27日 舟形中学校卓球女子ダブルスで県優勝(平賀千恵子・遠道友子組)
- 9月20日 「交通安全舟形」を宣言
- 9月22日 佐藤正義氏(舟形) 碁で東北準優勝
- 9月29日 町商工会主催で「五月みどりショー」開催
- 11月26日 中山金吉氏、亜炭産業功績により藍綬褒章受章
- 12月18日 YBCテレビ新庄開局記念に町の風習「病送り」放映される



春季消防演習



長者原橋の起工式(7月26日)



道路改良が進む国道47号線(一の関から見た舟形方面)



亜炭の積み出し風景



林茂夫妻(堀内出身) ブラジルより25年ぶりのふるさと訪問

世界と日本

- 2月10日 北九州市発足
- 3月30日 夢の超特急時速265キロの世界新記録に成功
- 6月16日 ソ連、女性飛行士テレシコワを乗せ、打ち上げに成功
- 11月1日 伊藤博文入りの新千円札登場
- 11月22日 ケネディ大統領ダラスで暗殺される
- 11月23日 日米間、初のテレビ中継に成功

1964

(昭和39年)

- 1月22日 故町長 星川五郎兵衛氏、町葬
- 2月26日 第4代目町長に奥山與市郎氏当選(奥山2,760票、奥山千代治2,443票、投票率88.6%)
- 5月13日 大場生コン工場落成式、工場誘致の草分、県内で3番目
- 6月 役場前十字路に初の信号機取付(1分間に車5台の交通量)
- 6月16日 震度5の地震に見舞われる(新潟地震) 人命に異常なし
- 7月13日 昭和32年以来の大洪水、冠水田畑70町歩
- 8月13日 富田の斎藤一さん兄弟ら5人、部落に警鐘台寄贈
- 9月 各町内ごとに衛生組合誕生
- 9月26日 オリンピック聖火リレー舟形町を通過
- 10月5日 桧原沢開田竣工式(30ヘクタール)
- 10月 舟形駅にボックス公衆電話設置される
- 12月1日 舟形小学校落成式(1,057坪、工費7千万、3カ年継続で完成)
- 12月10日 堀内児童館落成式



役場十字路に信号機がおめみえ(紫山側から見た舟形本町)



オリンピック東京大会の聖火が通る



完成した舟形小学校



長沢地区婦人会が料理講習会を開催

世界と日本

- 1月3日 連続殺人犯 西口彰熊本で逮捕
- 5月27日 ネール首相死去
- 8月17日 俳優佐田啓二 事故死
- 10月1日 東海道新幹線が開通
- 10月10日 第18回オリンピック東京大会開幕、28年ぶりの日の丸。マラソンの円谷第3位、女子バレーボールで東洋の魔女金メダル

【町長逝去】町長星川五郎兵衛氏が1月29日逝去された。この悲報は各方面に驚愕を与え多大の哀惜の情を起こさせた。町の緊急議会総務委員会は町葬を以て申うことに決定し、1月22日定泉寺において執行された。なお、星川町長の逝去により、公職選挙法により2月26日に町長選挙が行われ、奥山与市郎氏が当選した。

【初の信号機】役場前十字路に待望の信号機が取り付けられる。1分

間に約5台の交通量の交差点から交通事故絶滅の一助になろう。国道13号線には黄色の点滅、47号線は赤の点滅で活躍。

【東京オリンピック】第18回オリンピック東京大会が開幕した。それに伴い開会を告げる聖火は飛騨の地ギリシャから9月9日、日本に到着し、分火された聖火が9月26日午後1時30分頃舟形町を通過。舟形の、いや日本の将来をになう生徒達が晴れやかに中継した。

1965

(昭和40年)

- 4月 舟形保育園落成式
- 4月10日 舟形保育園、富長、堀内児童館を町営として発足入園式
- 9月21日 舟形町老人クラブ連合会発足(会員数500名)会長に舟形の真見祐臣さん
- 10月1日 昭和40年国勢調査(人口9,548人)
- 11月 星川礫太郎氏勲五等瑞宝章受章
- 11月9日 自衛隊第6師団無医地区診療、堀内地区600名受診
- 12月 舟形町振興審議会発足
- 12月 長沢児童館落成(工事費400万円、建坪70坪)



国道47号線の改良工事現場(平石橋周辺)



またも水害に悩まされる(7月18日町道太郎野附近)



老人クラブ連合会発足記念植樹



完成した長沢児童館

世界と日本

- 2月7日 米、北ベトナムの北爆開始
- 4月13日 暴力団山口組らに手入れ、177人を逮捕
- 6月12日 阿賀野川流域に有機水銀中毒、水俣病発生
- 7月3日 吉展ちゃん誘拐殺人犯、小原保容疑者逮捕
- 10月21日 南海野村選手 3冠王になる
- 10月21日 朝永振一郎博士にノーベル賞



完成した舟形保育園

1966

(昭和41年)

- 2月10日 長沢小中学校完全給食始まる
- 4月1日 農業委員会委員改選
- 4月 中山金吉氏勲五等双光日章を受章
- 5月16日 舟形小学校47号線取付道路竣工式(延長242m、幅員5m)
- 6月17日 町の議定数20名に改正(旧22名)
- 7月8日 町議会議員補欠選挙 無投票当選4名
- 7月16日 長者原橋竣工式(期間3カ年、工事費5,500万円)
- 9月20日 野田地区開田工事起工式
- 10月 堀内油田再試掘(実栗屋地内)
- 11月 富長児童館完成(371万3千円 188㎡)
- 11月 舟形地区交通安全を守る家の会結成
- 11月3日 舟形中学校理科クラブ「日本学生科学賞」で3等賞。シュレーゲル・アオガエルの観察
- 12月 福寿野公民館誕生(34坪、総工費208万円)
- 12月12日 舟形郵便局移転、新築、業務開始



完成が待たれる長者原橋



交通安全を守る家の会員の街頭PR



広報ふながた100号を迎える



再試掘される堀内油田

世界と日本

- 2月4日 全日空機東京湾墜落、133人死亡
- 3月4日 カナダ航空DC8型、羽田空港に激突、死者64人
- 3月5日 BOACボーイング707型機富士山で空中分解、124人死亡
- 4月4日 NHKテレビの「おはなはん」平均視聴率50%を記録
- 6月30日 ビートルズ日本武道館で公演
- 11月3日 全日空機松山沖で墜落50人死亡



野田地区開田工事起工式

1967

(昭和42年)

- 1月22日 県知事選挙
- 1月25日 当町初の農業振興懇談会
- 1月29日 衆議院議員選挙
- 3月 白バラ会発足
- 4月1日 農業委員会委員改選
- 4月 洲崎橋落成
- 4月 ホリエ電機舟形工場操業 (社員40名)
- 4月28日 町議会議員選挙、定数22名から20名へ(投票率95.19%)
- 6月8日 舟形町庁舎新築工事起工式
- 9月1日 消防自動車更新 (第1部、340万円)
- 9月2・3日 山形青年大会で優勝。全国青年大会へ
- 紫山 松本 英子 (陸上)
- 紫山 海藤 幸雄 (柔道)
- 舟形 鈴木 広友 (柔道)
- 10月 長沢、堀内地区交通安全を守る家の会結成



集中豪雨にみまわれた民家(堀内)



更新された消防自動車



農業振興懇談会



操業した誘致企業 ホリエ電機

世界と日本

- 3月4日 外人初の関取高見山誕生
- 4月15日 東京都知事に美濃部さん
- 5月30日 東洋工業、ロータリーエンジンを実用化
- 6月30日 自動車保有台数1,000万を突破
- 10月9日 ポリビア陸軍、チェ・ゲバラの死亡を発表
- 12月9日 都電銀座線廃止される

【選挙】1月は2回も大きな選挙があり、22日は山形県知事選挙で29日は衆議院議員選挙と続き、雪の中の選挙というのでその投票率がとても心配されたが双方70%以上という高い投票率を示し、わが町の政治への関心が高いことを示しました。また、任期満了となった町議会議員の選挙が4月28日に執行されました。定数が22名から20名となり、有権者が減っているというものの、激戦の結果、95.19%という高投票率をあげ、新人の議員が8人出て昭和生まれの議員も誕生しました。

【農業】稲作は霜害や水害に悩まされたというものの、比較的高温に恵まれたため、全般的には史上最高の出来高であった。機械化がめまぐるしく発達し、稲刈機も随分使われ、協同化も行われた。農家の人たちは“商品”としての米を作る自覚で、本当に市場性の高い良質の米を生産するため努力した。

【水害】7月29日朝の局地的集中豪雨の被害は余りにひどく、ただ呆然と驚くばかりであった。堀内地区では人家が倒壊し、崖崩れの土砂が家屋を埋めるという無惨な爪あとを残し、町の被害金額は約2億円で、人畜に被害がなかったことだけが不幸中の幸いであった。

【消防】昭和28年購入の自動車ポンプに代わり、新しい消防車が9月1日あたかも防災の日と同じくして配置された。140馬力、吸水が早くレバー1本で駆動できる独自の設備を持ち、化学消火器を搭載し、油火災等に威力を発揮する性能を持ち、価格は340万円だった。

【工場誘致】農村からの人口の流出を防ぐため、町が誘致したホリエ電機舟形工場が4月1日より操業した。場所は舟形映画劇場を仮工場とし、町内より応募した40名の従業員で電気器具の部品製造を開始した。

1968

(昭和43年)

- 2月18日 5代目町長に澤内甚一郎氏就任 (澤内2,873票、奥山与市郎2,065票、投票率91.19%)
- 3月 舟形橋に歩道橋完成 (工事費2千万円)
- 3月7日 町消防団、消防庁長官賞受賞
- 6月1日 新町内会「西堀」誕生
- 6月1日 新庁舎にて業務開始
- 6月10日 交通指導員が設置され6名が就任
- 7月7日 参議院議員選挙
- 7月 町の人口9,000人を割る
- 7月13日 太平パイロット開田入札
- 7月22日 第1号名誉町民に星川敏太郎翁決定
- 7月25日 庁舎落成式
- 8月29日 裏の山圃場整備起工式
- 9月1日 太折部落消防団結成式
- 9月2日 除雪車購入(509万円)



完成した新庁舎



栄誉ある消防庁長官賞



町で最初の松橋ダム



歩行者の安全を守る舟形橋歩道橋完成

世界と日本

- 2月24日 ライフル魔の金婚老逮捕
- 4月8日 日通の福島前社長ら1億数万円の横領容疑で逮捕
- 6月6日 ロバートケネディ凶弾に倒れる
- 6月26日 小笠原諸島23年ぶり日本に還る
- 8月8日 札幌医大の和田教授、わが国初の心臓移植
- 10月18日 川端康成にノーベル文学賞授与
- 11月27日 佐藤自民党総裁3選
- 12月10日 府中で銀行輸送車の3億円奪われる

【町長選挙】町長選挙が2月18日に執行され、町内15カ所の投票所で投票が行われた。各投票所とも好出足を示し、すでに午前中に60%を上回る投票率を示したところさえあった。特に出稼者の不在者投票が記録破りの好成績を示し、身近な選挙に対する政治意識の強さが現れていた。開票の結果、澤内甚一郎氏が当選。最終投票率が91.19%と高かったのは選挙民の政治に対する関心の深い表れと同時に、前年発足した白バラ会、明るく正しい選挙推進委員会の地味ながら強力な啓発運動によるものであろう。

【役場】役場新庁舎は、前年6月8日起工式を行い、2月20日に完成予定であったが、着工当初の遅れと凍結期のためコンクリート工事ができず、やむなく5月20日まで工事が延期され、6月に待望の新庁舎が完成し、事務が開始された。苦しい町の財源の中にあって9千万円

にのぼる費用を町の殿堂が完成したことは、町民の理解と協力のたまものである。斬新なスタイルで、近代的なこの庁舎は、明るい町づくりを象徴するものである。

【名誉町民】7月22日の臨時町議会で名誉町民条例の第1号として、星川敏太郎翁を満場一致で決定した。名誉町民の称号を贈られた星川翁は明治12年8月18日生まれで、満年齢88歳であった。医師としての傍ら、政治家としてもその功績は高く、名誉町民の称号にふさわしい方であり、米寿を迎えてなお「生ある限り世のため、人のために尽くしたい」と語ったという。

【消防】本町消防団が3月7日、日本武道館で天皇・皇后両陛下の御臨席のもと、日本消防20周年記念に当たり、設備と組織の優秀さが認められ最高の栄誉というべき、消防長官賞を受賞しました。

1969

(昭和44年)

- 1月14日 舟形中学校理科クラブ文部大臣賞に輝く (クラブ員15名)
- 2月28日 星川皷太郎氏に第1号名誉町民章を贈る
- 4月1日 農業委員会委員改選
- 4月1日 交通災害共済制度始まる
- 4月13日 舟形地区農集電話開通記念式
- 7月7日 舟形町観光審議会発足
- 7月13日 舟形友の会結成式 (東京にて250名参加)
- 8月8日 災害対策本部設置 (中小河川が氾濫。被害約3億円、死亡1名)
- 8月18日 舟形第一次簡易水道工事入札着工 (8,880万円)
- 8月29日 舟形中学校米飯給食開始
- 8月30日 猿羽根山が県青年大会相撲会場となる
- 9月12日 富田ホーヤ沢開田落成 (75ha、総工費1億400万円)
- 10月27日 堀内母子センター起工式
- 11月15日 富田公民館落成式
- 12月19日 長沢駐在所落成式
- 12月23日 清水、舟形線踏切開通式
- 12月25日 衆議院議員選挙



完成した富田ホーヤ沢開田



盛況だった第1回ふながた友の会総会



8月8日の集中豪雨は重要河川をも襲った

世界と日本

- 1月20日 第37代米国大統領にニクソン氏
- 4月28日 ドゴール大統領、選挙に敗れて辞任
- 5月26日 東名高速道路開通
- 7月21日 人類ついに月に立つ、アポロ11号のアームストロング月に一歩
- 10月29日 人工甘味料チクロの使用禁止
- 11月16日 南ベトナムでのソンミ村虐殺事件が明るみに
- 12月18日 英国、死刑廃止制度を決定

叙園観光ホテルで会員250名の参加で行われた。これは会員の友情と親睦を図り郷土舟形町の発展に寄与しようというもので、初代会長に叶内安彦氏(長者原出身)が推挙された。

【建設】野・瀬見間の国道47号線が改良、舗装完了。清水・舟形線の前奥羽本線踏切前後改良、舗装共に完成。なお、公営住宅として15戸舟形小学校の下に建設し、排水路工事、整地工事に併せて1,600万円を投入し、着工した。

【教育文化】舟形理科クラブが第9回学生顕微鏡観察コンクールで全国から応募した1,726点中、「オタマジャクシからカエルになるまでの歯列の生え方、それによる種類の識別方法」の研究で最高賞の文部大臣賞を受賞した。

【災害】8月7日～8日にかけて襲った豪雨は230ミリを記録し、1人の犠牲者を出し、3億円余の被害を与えた。しかし町民が一体となり、各所で必死の作業を続け被害を最小限に食い止めた。

【ふながた友の会】結成式が7月13日午後2時より東京都下目黒雅

1970

(昭和45年)

- 1月28日 長沢地区農集自動電話架設 (264台、町の普及率75%)
- 3月 老人家庭奉仕員制度生れる
- 4月25日 堀内母子センター業務開始
- 5月4日 最上川堀内築堤落成式 (739m、5カ年、総工費1億8,700万円)
- 5月24日 過疎地域に指定 (県内10町村)
- 8月1日 広域行政し尿処理場操業
- 8月31日 裏の山ほ場整備事業竣工
- 9月 舟形下の河原地区の町営住宅5カ年計画完了 (32戸)
- 10月1日 第11回国勢調査人口8,397人
- 10月15日 全国消防操法大会出場 (自動車第1部)
- 10月27日 猿羽根山観光事業竣工式 (大鳥居、休憩所、その他)
- 11月12日 最上広域市町村圏事務組合発足
- 11月12日 富田出身の柝桜光輝関が十両入り
- 12月1日 中山金吉氏に第2号名誉町民贈る
- 12月2日 新鋭雪上車を母子センターに配置 (県内に6台)
- 12月15日 舟形町第一次簡易水道竣工式 (舟形、長沢地区)
- 12月26日 山形県知事選挙



全国消防操法大会での勇姿



業務開始した母子センター



完成した第1次簡易水道



生産調整測量始まる



完成した堀内築堤

世界と日本

- 3月14日 日本万国博開催
- 3月31日 日航機に「よど号」が赤軍派の学生に乗っ取られる
- 4月5日 沼田義明、世界ジュニアライト級のチャンピオンに
- 8月1日 銀座・新宿に歩行者天国登場
- 9月28日 さようなら蒸気機関車、SLブーム起る
- 10月29日 佐藤首相 わが国の議会政治史上初の4選
- 11月2日 巨人6年連続の日本一

【過疎地域】昭和35年～40年までの間に国勢調査人口が1割以上の減少をみた市町村で、昭和41年から43年までの財政力指数が4割に満たない市町村を過疎地域といい、郡内では舟形町と大蔵村が該当し、自治大臣により指定公示された。それに伴う国の財政上の施策として、国の負担・補助率が3分の2となり、過疎事業債制が設置され、その利用により町が「過疎地」から大きく飛躍しようというものである。

【農業関係】では、政府は食糧制度を維持し、過剰米を処理するために生産調整の実施をし、その協力を求めてきた。舟形町の生産調整目標は99ha、460tが県からの指示である。各部落において、話し合いの結果、順調に調整が進行した。

【母子センター】母親と乳児などの健康保持と増進を図るお共に、こ

れらの保健指導や健康診断など町民の保健面に利用してもらうもので、総工費870万円で、堀内に建設完成した。

【水道事業】住民の公衆衛生の向上、増進に大きな影響力をもつ水道事業が昭和44年、45年の2カ年の歳月と1億1千万円の巨費を投じてめでたく完成した。長沢地区、舟形地区の住民704戸3,800人を対象に給水された。

【相撲】角界入りした柝桜光輝君が秋場所幕下5枚目にあって5勝2敗と好成績をあげ、番付会議で満場一致の推薦を受け、11月15日からの大相撲九州場所では新関取として堂々と場所にのぞんだ。

【名誉町民】中山金吉氏、52年の長きにわたり、地下資源の開発など産業の発展と近代化に献身した偉大な業績に対して贈られた。